国　語

温故知新
～投稿で作品を自家薬籠中のものとする

【取り組みのねらい】

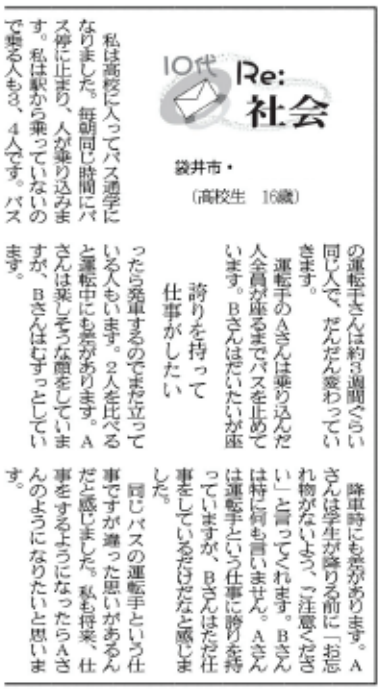
①「温故知新」を意識させる。教科書の作品世界と日常世界には共通項があることを自覚させる。
②作品世界の知恵を日常生活に活かす態度を養う。
③古今の情報を幅広く得て、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。

課題の提示の工夫例

（古文）「源氏物語」若紫を読んで

【課題】　垣間見による若紫の発見。「かの人（藤壺の宮）の御代わりに」と考える光源氏の愛の屈折。尼君と若紫の会話を通して当時の人々の在り方生き方が見えてきます。尼君と女房との和歌の贈答。藤壺の宮と若紫の関係等、内容の濃い物語となっています。古典文学の最高峰と、日本だけでなく世界から評価されている「源氏物語」の一節を読みました。この場面は、古来、多くの絵師が絵に描いている場面でもあります。
　そこで、心に残ったこと、疑問に思ったこと、考えさせられたことなど、自由に感想文を書きなさい。
　目標20行、最低15行。

「水の東西」より
平成24年（2012年）11月13日（火曜日）朝刊



10代 Re: 社会

袋井市・（高校生　16歳）

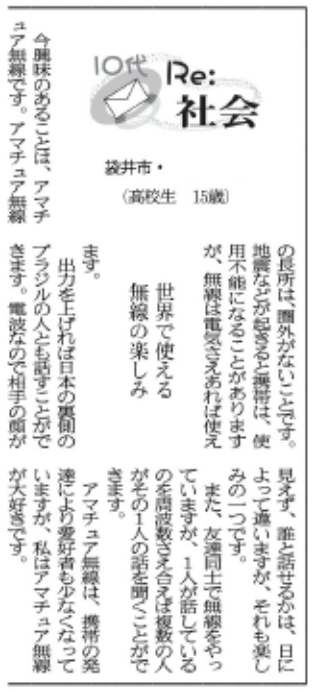
私は高校に入ってバス通学になりました。毎朝同じ時間にバス停に止まり、人が乗り込みます。私は駅から乗っていないので乗る人も3、4人です。バスの運転手さんは約3週間ぐらい同じ人で、だんだん変わっていきます。

運転手のAさんは乗り込んだ人全員が座るまでバスを止めています。Bさんはだいたいが座ったら発車するのでまだ立っている人もいます。2人を比べると運転中にも差がありますが、Bさんは楽しそうな顔をしていますが、Bさんはむずっとしています。

降車時にも差があります。Aさんは学生が降りる前に「お忘れ物がないよう、ご注意ください」と言ってくれます。Bさんは特に何も言いません。Aさんは運転手という仕事に誇りを持っていますが、Bさんはただ仕事をしているだけだなと感じました。

同じバスの運転手という仕事ですが違うだけでこんなにも差があるんだと感じました。私も将来、仕事をするようになったらAさんのようになりたいと思います。

「ルリボシカミキリの青」より
平成25年（2013年）5月14日（火曜日）朝刊



10代 Re: 社会

袋井市・（高校生　15歳）

今興味のあることは、アマチュア無線です。アマチュア無線の長所は、「圏外がないこと」です。地震などが起きると通信は、使用不能になることがありますが、無線は電気さえあれば使えます。

世界で使える
無線の楽しみ

出力を上げれば日本の裏側のブラジルの人とも話すことができます。電波なので相手の顔が見えず、誰と話せるかは、日によって違いますが、それも楽しみの一つです。

また、友達同士で無線をやっていますが、1人が話しているのを周波数さえ合えば複数の人がその1人の話を聞くことができます。

アマチュア無線は、携帯の発達により愛好者も少なくなっていますが、私はアマチュア無線が大好きです。

「唐詩」より
平成25年（2013年）10月25日（金曜日）朝刊



10代 Re: 社会

不安乗り越え
未知の世界へ

森町・（高校生　17歳）

唐詩の「晒中作」（吟醪）を学習した。あたり一面砂漠の中を行軍した師の心境を読んだものだ。家族に別れを告げて2カ月余。今夜はどこに宿泊するのかも分からない。一面に広がる砂漠、不安と寂しさがとても伝わってきた。

私は半年後、高校を卒業して社会人になる。多くの思い出をつくってきた校舎を離れ、新しい環境でのスタートだ。自分の知らない新しい世界。考えているよりはるかに厳しいところだと思う。友達や先生は周りにはいない。たくさんの不安、寂しさを感じるはずだ。

その時の私の心情はこの詩そのもののように感じた。

しかし、未知の世界に恐れをなしているのではなく前向きに取り組んでいきたいと思う。不安や寂しさはどうしようもないが、自分の選んだ道なのだから全力で頑張りたいと思う。不安を乗り越えればきっと今まで知らなかったすてきな世界が待っていると思う。

「源氏物語」より
平成23年（2011年）11月19日（土曜日）朝刊

森町・（高校生　17歳）

源氏物語を読んでみて、とても内容の濃い話だと思った。一つの物語からいろいろな人の思いや感情が見えてきた。

私が一番いいなと思った所は、和歌の「生ひたちも　ありかも知らぬ若草を　おくらす露ぞ消えむそらなき」と、逝しの「初草の　生ひゆく末も　知らぬまに　いかでか露の消えむとすらむ」という、和歌でやりとりした場所だ。若紫を心配し、ところも素敵だ。以前は、和歌には興味がなかったが、無縁は電気さえあれば使えているおばあさんとしての尼君の気持ちと、尼君に向けた気持ちで読んでいるのが理解できた。あらためて読んで、本当にすばらしい物語だと思った。世界から評価されているのが分かる歌だ。

今も昔も　相手を思う　気持ちは変わらないと思った。むしろ、今より昔の方がその気持ちを素直に言葉にして伝えていた。

歌に感じ
和して実しい
素晴らし物語です

【実施のコツ】

①学習のまとめとして、作品関連の題材で文章を書かせる。
②設定時間は20分間。
③作文要旨はＡ４判リポート用紙、罫線の高さは9ミリ。
④文字数は目標20行、最低15行。
⑤制限時間で回収。時間で書き終われない生徒はその日のうちに提出するよう指示。未提出者には注意と減点を言い渡す。
⑥提出された文章の中から、面白い文章を投稿要項に合うように清書させて投稿する。生徒同士の互選も効果的。

【実施のコツ】

最初の10分が肝心。筆記具の音だけの集団になったら、集団の力が個人を後押しして、書けない生徒はほとんどいなくなる。選んだ生徒には「挑戦」といって清書させる。

（漢文）唐詩を読んで

【課題】　「唐詩」既習四首の中から好きな詩を一首選び、白文で書写し、次に鑑賞文を書きなさい。
　目標20行、最低15行。